

若手研究者交流事業
(長期派遣)
(個人派遣・Summer Program)

募集要綱

2016年度



貿易経済部 電話:(03)5573-2600 ex22
〒106-0032 東京都港区六本木 3-16-33 青葉六本木ビル7F

1. 目的

本件事業は、科学技術分野（人文社会科学分野を除く）につき、日本の若手研究者が一定期間台湾の研究受入れ先において研究活動に従事することにより、自己の研究内容及び必要な知見の向上を図るとともに、日台双方の研究開発の促進と人材の育成に資することを目的とするものである。

なお、本件事業は、台湾の科技部（Ministry of Science and Technology）との共同事業である。

2. 対象者

原則として35歳以下で、日本国籍を有し、日本の大学院に在籍している修士または博士課程の大学院生。

- ・応募時に修士入学見込の学生も応募可（要入学見込等の証明書）。
- ・過去に本件事業に採用された者は対象外。（過去にグループ派遣（短期、Summer Visiting Program）のメンバーとして採用された者は対象。）
- ・大学間交流協定による交換留学生は対象外。
- ・社会人学生は、非正規雇用者に限り対象。

3. 実施期間

平成28（2016）年6月1日～12月31日までの間の2ヶ月間

4. 応募条件

以下の条件を満たすこと。

- （1）台湾での研究受入れ先(*)が確定していること。なお、研究受入れ先は原則として1機関とする。

(*)①大学、②中央研究院、③（財）国家実験研究院のいずれかとすること。

- （2）研究、滞在に支障をきたさない語学力（英語或いは中国語）を有すること。
- （3）心身共に健全であり、台湾において研究を行うのに支障のないこと。

5. 支給経費

(イ) 渡航費（日本－台湾間のエコノミークラス往復航空賃）

(ロ) 日本国内交通費

(ハ) 海外旅行傷害保険料（交流協会にて付保）

(ニ) パスポート（5年用）取得料（未所有者のみ）

(ホ) 台湾における滞在費（984米ドル／月）

(ヘ) 台湾域内交通費（初日と最終日の空港－宿舎（または目的地）間の交通費が対象。）

上限 3,000 台湾元/人)

(注) 上記(イ)～(ニ)については、(公財) 交流協会から直接支給する。

(ホ)及び(ハ)については、申請者による依頼を受け、台湾の研究受入先が科技部に対して代理受領申請を行い、同受入先を通じ、支給対象者に支給される。

6. 報告書の提出

帰国後、1ヶ月以内に研究報告書(英語・日本語各2部)を交流協会に提出しなければならない。また、別途、台湾側受入機関に対しても帰国後2ヶ月以内に研究報告書(英語)を提出すること。

7. 注意事項

(1) 台湾における研究活動に対し、他の機関の助成金を同時期に重複して受給することはできない。

また、他の機関の助成金を受給する目的で、本件事業の開始時期及び期間を変更することは認めない。

その他、本件事業に採用された期間中は、大学間交流協定等、本件事業とは異なる交流枠組み制度による便宜を受けることも認めない。

(2) やむを得ない事情で私費にて滞在を延長する場合は、事前に交流協会の同意を得なければならない。

(3) 自己の責任において研究受入先(4.(1)参照)、指導教官(研究受入先の教官又は研究員)及び居住先を選定し、所定の手続きをとらなければならない。

8. 応募方法

(1) 応募希望者は所定の応募申請書を使用し、大学院在籍証明書(原本)及び学生証(表裏コピー)とともに下記10.へ書留郵便にて郵送する。メールでの申請は一切受け付けない。

(2) 応募受付期間は平成28(2016)年1月11日(必着)まで。

(3) 応募申請書のうち、以下の点は特に注意のこと。

●受入同意書(中国語タイトル接待機構同意函 P.4)

必要事項を記載したデータを台湾の受入先(滞在費等の代理受給手続を依頼する人)に送信し、★印欄に加筆・署名・捺印をしてもらったものを提出すること。PDFによる副本での提出も可能だが、記載内容が明確に判読できるよう印刷の濃度に注意のこと。

9. 審査及び結果の通知

- (1) 交流協会において書類審査を行う。
- (2) 審査結果については平成 28 (2016) 年 3 月下旬に書面をもって通知する。
- (3) 審査結果に関する個別の問い合わせには応じない。

10. 応募書類の送付先

〒106-0032 東京都港区六本木 3-16-33 青葉六本木ビル 7 階

公益財団法人交流協会 貿易経済部 担当者：角田径子

TEL：03-5573-2600、内線 22 / FAX：03-5573-2601

E-mail：tsunoda@koryu.or.jp